

グローバル・ガバナンス学会

第9回研究大会

開催ご案内

日時：2016年10月8日(土)10時～20時

会場：大阪大学(豊中キャンパス)国際公共政策研究棟

グローバル・ガバナンス学会 第9回研究大会のご案内

国際秩序の構築は、国家間関係の誕生と同じくらい古くからの課題であろう。冷戦終結後にグローバル・ガバナンスの摸索が本格化すると、国家間関係以外の多様なアクターが機能を分担し、分野横断的な秩序を形成する展望が描かれた。その到達は容易ではなく、現時点での成果も限られているが、今後の可能性を示唆する手がかりは、確かに蓄積されてきている。

しかし他方で、新たな脅威や不安定要素が次々と姿を現し、また秩序形成に協力すべき国家やアクターにも、従来の中核的メンバーからすると異質に見える存在が深く加わってきた。同時に、そのような中で、新たな課題に対応するための興味深い試みも浮上している。

第9回研究大会では、そうした新たな脅威・不安定要因として、テロだけでなく国際犯罪組織やコカイン密輸の動きを検討し（部会Ⅰ）、また、新たなアクターとして、NGOだけでなく、BRICSやイスラームの動向を視野に入れて考察する（部会Ⅲ）。同時に、従来の中核的メンバーの一国、イギリスがEUというグローバル・ガバナンスにも波及効果を与える地域ガバナンスから離脱した衝撃を分析する（部会Ⅳ）。

さらには、本来であれば積極的に論じるべきでありながら、意外にも等閑視されがちな問題、すなわち日本の関与にも検討の射程を広げたい。すなわち共通論題において地球環境問題、発展途上国の開発、アジア地域秩序への対応に照準をあわせて、日本外交が国際秩序にどのように関与しているのか、その現時点の様相を捉え、またその分析視角についても検討したい。

第9回研究大会では、従来から本学会の課題になっていた若手研究者のネットワークづくりと研究上の対話の場として、新たに昼食時にBBM（ブラウン・バッグ・ミーティング）を開催する。若手研究者は、現在の研究課題や今後本格的に取り組もうとしているテーマについて、他の研究者の声を聞く絶好の機会にできるであろうし、また中堅・シニアの研究者は、新たな研究の動向や関心のあり方を知る好機になるのではないだろうか。上記の部会、共通論題とあわせて、会員の方々の積極的な参加と議論をお願いできれば幸いである。

グローバル・ガバナンス学会会長 大矢根 聡

第9回研究大会・プログラム

日 時：2016年10月8日（土）10時～20時

会 場：大阪大学 豊中キャンパス 国際公共政策研究棟
（郵便局の隣の正面入り口に受付があります。）

- ・下記のプログラムは8月31日時点のものであり、内容の変更等は学会ウェブサイトでお知らせいたします。
- ・すべてのセッションを会員のみならず非会員の方にも公開いたします。
- ・非会員の学部学生は学生証の提示をもって参加費無料といたします。
- ・一般の非会員の方は参加費（500円）をお支払いいただきますようお願いいたします。

10:00-12:00 午前の部

部会 I

「国境を超える暴力と国際組織」（豊中総合学館 5階 501教室←国際公共政策研究棟 5階より渡り廊下を通じて移動できます。）

（趣旨）

国境を超える暴力に対しては各国が協力して対応するしかないが、どのような問題状況があり、どのような協力が試みられているのだろうか。また、その成果はどうだろうか。そこにはどのような限界があるのだろうか。暴力への対応は、グローバル・ガバナンスを構築する上で避けて通れない問題であるが、その現状把握と分析はなお十分とはいえない。本部会では、先端的な現状分析と課題整理を試み、今後を展望してみたい。

司会者：宮脇昇（立命館大学）

報告者：福海さやか（立命館大学）

論 題：「ラテンアメリカのコカイン密輸」

報告者：中村文子（東北大学）

論 題：「国際組織犯罪と反人身売買ガバナンス」（仮）

報告者：宮坂直史（防衛大学）

論 題：「国際テロリズムの変容とテロ対策のあり方」

討論者：山本直（北九州市立大学）

部会Ⅱ

「自由論題」（国際公共政策研究棟 2階 講義シアター）

司会者：小尾美千代（南山大学）

報告者：藤井有希（一橋大学大学院生）

論 題：「NGOは環境・社会的株主行動を利用し、企業行動を変えてきたか」

討論者：菅原絵美（大阪経済法科大学）

報告者：鐘 鈺（ZHONG Yu）（立命館大学大学院生）

論 題：Conference on Interaction and Confidence Building Measures in Asia
（英語報告）

討論者：首藤もと子（筑波大学）

報告者：宮下大夢（早稲田大学大学院生）

論 題：「南アジアにおける人権ガバナンスの課題

—ASEAN 政府間人権委員会「委任事項」起草・再検討過程における市民
社会の取り組みに着目して—」

討論者：首藤もと子（筑波大学）

12:10-13:20 BBM および昼食

BBM（国際公共政策研究棟 6階 会議室）

*BBM（ブラウン・バッグ・ミーティング）は本学会の新たな試みであり、若手研究者が現在取り組んでいる研究の一端を報告し、参加者は自由に昼食をとりながら議論に参加し、自由に意見を交わすことを想定しております。若手研究者どうしが交流するとともに、中堅やシニアの研究者に意見やアドバイスを提供していただく場と考えております。ぜひご出席ください。昼食（弁当）は当日朝受付にて注文も可能ですが、数に限りがございますので、事前登録の際にご注文いただければ、確実に提供できます。

司会者：中内政貴（大阪大学）

報告者：佐藤史郎（大阪国際大学）

論 題：「生存基盤指数—温帯パラダイムを越えて—」

報告者：岸野浩一（関西学院大学）

論 題：「国際政治経済をめぐるスコットランド啓蒙思想の現在性」

13:30-15:30 午後の部

部会Ⅲ

「グローバル・ガバナンスをめぐる新たな主体の登場とその影響
—対立か協調か?—」
(国際公共政策研究棟 2階 講義シアター)

(趣旨)

国際関係においては、その時々の中核的な役割を果たす大国が存在する一方で、たえず新たなアクターが台頭する。今日、NGOの役割は新たな局面を示しつつあり、それと並行してBRICS諸国やイスラム(諸国・組織・移民)も無視できない存在感を放っている。それらと従来の大国や国連などの国際機関は、どのような関係を築きつつあり、それは今後に展望されるグローバル・ガバナンスにどのように作用するのか。本部会において多角的に検討してみたい。

司会者：奥迫元(早稲田大学)

報告者：笹岡雄一(明治大学)

論 題：「グローバル・ガバナンスとBRICSの台頭」

報告者：大森佐和(国際基督教大学)

論 題：「子ども人権ガバナンスにおけるNGOの影響力—日本の事例から—」(仮)

報告者：山尾大(九州大学)

論 題：「イスラーム世界のグローバル・ガバナンス」(仮)

討論者：軽部恵子(桃山学院大学)

部会Ⅳ

「イギリスのEU離脱—ヨーロッパそして世界への影響—」(豊中総合学館5階501教室)

(趣旨)

EUは複雑に進化したガバナンス・システムとして、ヨーロッパとグローバル社会を分かちがたく結びつけている。そのEUのビッグスリーの一角・イギリスがEUを離脱しようとしている現在の状況は、すでに各方面にさまざまな影響をおよぼしている。BrexitはEUの広範な共通政策を弱体化させてしまうのだろうか。本部会では、EUの権力基盤にダイレクトにインパクトを与える欧米関係の変容について論じつつ、英EU脱退国民投票の行く末を展望してみたい。

司会者：山本武彦（早稲田大学）

報告者：福田耕治（早稲田大学）

論 題：「英国 EU 離脱の衝撃と欧州統合の行方」

報告者：安江則子（立命館大学）

論 題：「Brexit の帰結—EU とグローバル社会へのインパクト—」

報告者：渡邊啓貴（東京外国語大学）

論 題：「EU 崩壊論の虚構—現実主義の統合擁護論—」（仮）

討論者：山本武彦（早稲田大学）

15：45～17：45 共通論題

「日本の『国際秩序』外交—その現時点の確認と分析—」（豊中総合学館 5 階 501 教室）

（趣旨）

グローバル・ガバナンスの形成に向かう動きやそれを阻害する問題について、本学会では様々な分野の構図を示し、分析を重ねてきた。しかし、それらに日本はどのように関わっているのか。かつて日本外交といえば、その受動的対応が特徴とされてきた。その様相は変化し、グローバル・ガバナンスの一角をなすような秩序形成に関わることができているのか。そうだとすれば、どのような状態にあるのか。そうでないとすれば、どのような課題に直面しているのか。共通論題では特に地球環境問題、開発問題とアジアの地域秩序に照準をあわせ、日本外交の「現時点」を確認し、その適切な分析の可能性を考えてみたい。

司会者：大矢根聡（同志社大学）

報告者：太田宏（早稲田大学）

論 題：「地球環境問題と日本の環境外交」（仮）

報告者：高柳彰夫（フェリス女学院大学）

論 題：「持続可能な開発目標（SDGs）時代の開発援助の政策協調と日本の ODA」

報告者：若月秀和（北海学園大学）

論 題：「アジアの国際秩序の変容と日本外交—冷戦後期からの示唆—」（仮）

討論者：畠山京子（関西外国語大学）

「理論的観点を中心に」

18：00～18：30 総会 (豊中総合学館 5 階 501 教室)

18：30～20：00 懇親会 (国際公共政策研究棟 6 階 会議室)

【会費：3000 円】

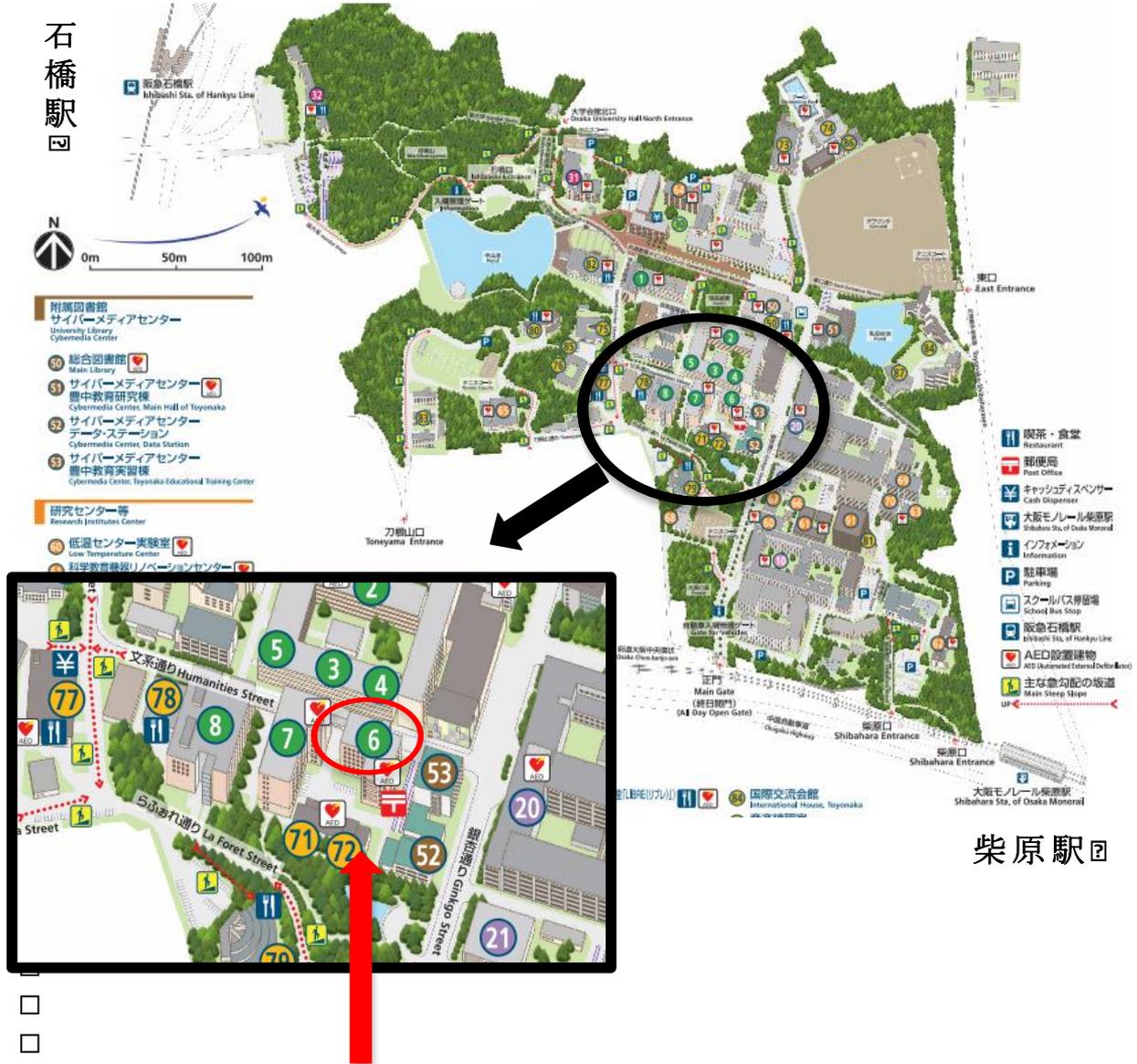
* 研究大会参加の事前登録の際に受け付けておりますが、当日、研究大会の受付でもお申し込みいただけます。

* 皆さまの積極的な参加をお待ち申し上げます。

* キャンパス内にコンビニ、食堂等がありますが、会場からは徒歩 5 分～10 分かかります。

○会場・交通アクセス

大阪大学豊中キャンパスマップ



-
-
-
-

6番の建物です。郵便局の隣！

* 研究大会会場：大阪大学 国際公共政策研究棟（通称 OSSIP 棟）
 →円内中央の建物。豊中キャンパス内唯一の郵便局が1階にありますので、それを目印にいらして下さい。

* 懇親会会場：同研究棟内6階 会議室

〈交通アクセス〉



- 阪急「梅田」または「十三」駅から阪急宝塚線で「石橋」駅下車、東へ徒歩約15分。
- 阪急京都線「南茨木」駅から大阪モノレールで「柴原」駅下車、西へ徒歩約10分。
- JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線で「千里中央」駅、大阪モノレールで「柴原」駅下車、西へ徒歩約10分。
- 大阪空港から大阪モノレールで「柴原」駅下車、西へ徒歩約10分。
- 関西国際空港から南海本線で「なんば」駅、地下鉄御堂筋線で「千里中央」駅、大阪モノレールで「柴原」駅下車、西へ徒歩約10分。
- 関西国際空港からJR阪和線で「天王寺」駅、地下鉄御堂筋線で「千里中央」駅、大阪モノレールで「柴原」駅下車、西へ徒歩約10分。

● 東海道・山陽新幹線

JR 新大阪駅

↓ (徒歩 5 分)

大阪市地下鉄御堂筋線 新大阪駅

↓ (千里中央行、直通運転)

北大阪急行 千里中央駅 (終点)

↓ (徒歩 10 分)

大阪モノレール 千里中央駅

↓

大阪空港行に乗車、柴原駅 (2 駅目) 下車

● 大阪 (伊丹) 空港

空港ターミナル

↓ (直結、徒歩 5 分)

大阪モノレール 大阪空港駅

↓

門真南行に乗車、柴原駅 (2 駅目) 下車

★地下鉄、北大阪急行、阪急電鉄、大阪モノレール、JR いずれでも使えます。

「Kitaca」(JR 北海道)

「PASMO」(関東圏民鉄)

「Suica」(JR 東日本)

「manaca」(名古屋鉄道・名古屋市営地下鉄)

「TOICA」(JR 東海)

「PiTaPa」(関西圏民鉄)

「ICOCA」(JR 西日本)

「はやかけん」(福岡市交通局)

「nimoca」(西日本鉄道)

「SUGOCA」(JR 九州)

☆開催校ではホテルなどの手配・斡旋はいたしておりません。

*大会のプログラムは、本学会のウェブページでも順次更新してご案内いたします

<http://globalgovernance.jp/>

*本学会のウェブサイトにて、事前に研究大会の参加申し込み、昼食時の弁当の申し込みや懇親会の参加申し込み等を行うことができます。とりわけ昼食時の弁当の数には限りがありますので、確実に確保するためには、なるべく事前に申し込みをして頂きますようお願い申し上げます。

*なお、当プログラムは8月31日時点の情報に基づいて作成されております。

*会費未納の方へのお知らせ

研究大会・受付でも年会費の納入を受け付けます。
次の口座に年会費をお振込みくださっても結構です。

00930-9-128155
グローバル・ガバナンス学会